

# 川づくりワークショップ

【第5号】  
平成24年10月5日発行  
古賀市役所建設産業部建設課

## 第5回ワークショップ開催！

～皆さんと考える川づくり  
具体的な整備イメージの検討をしました～

平成24年9月23日（日）、13時30分から市民の皆さんに集まっていただき、第5回ワークショップを開催しました。

今回のワークショップでは、九大で作成された現況模型を参考に具体的な川づくりの整備イメージの検討に入りました。たくさんの意見が出され、大変有意義なワークショップになったのではないのでしょうか。

では、第5回ワークショップを振り返ってみましょう。

## 第5回ワークショップの内容

・現況の模型を囲んで、  
具体的な整備イメージの検討

### 整備イメージを検討する範囲の再確認

具体的な整備イメージを検討するにあたり、どの範囲をどのように整備するのかについて福岡県土整備事務所の豊増係長から再確認の意味も含め説明を受けました。

整備範囲は、旧河川の範囲で現況道路に影響しないところとし、整備に関する制限については、基本的にはどのような整備でも可能だが、河川護岸に桜を植えることは管理上あまり適切ではないとのことでした。



整備範囲について模型を見ながら再確認

### 整備イメージの検討

これまでのワークショップで、「川の流れるは蛇行させることでより自然な川に近づけ、この地域に生息する多種多様な生物や植物の環境を保存することが望ましい」ということや「子供たちにも安全で遊べる空間を作ることが必要ではないか」ということを学びました。これらのことを踏まえ、現地確認したイメージも参考に具体的にどのような整備をしたらよいか、整備イメージを検討しました。

今回は3班に分かれて検討し、班ごとの整備イメージを発表してもらいました。

各班で検討した内容は概ね共通しており、

- ・堰の位置を下流に動かす
- ・上流側は子供の利用がしやすいような浅い環境にする
- ・下流側は深みを残す
- ・水際へのアクセス向上・階段
- ・水際を散策できるような歩道的な環境
- ・木陰ができるよう樹木を植える
- ・川の中の流れを多様にする（大きな石を入れたり、蛇行させたりする）
- ・街路灯・フットライト
- ・デッキ・棧橋
- ・休めるベンチ・あずまや
- ・沈下橋

などの具体的な整備イメージが出されました。



九州大学が作成した現況模型



各班からの発表の様子

### 本日のまとめ

各班からたくさんの意見が出されましたので、これらの意見をもとに九大で技術的な検討結果も含め、新たに整備イメージの模型を作成することになります。限られた整備範囲の中でどのような整備イメージの模型ができあがってくるのか、みなさんも楽しみなのではないでしょうか。次回ワークショップでは、整備イメージ模型を参加者で確認しながら修正していく作業になりますので、現地での利用をイメージしながら活発な意見を出していただけたらと思います。

### 先進地視察

先進事例についての視察をしないのかという意見があり、福津市の上西郷川における川づくりの様子を視察することになりました。

日時は、平成24年10月25日（木）10:00～古賀市役所からバスで現地へ行き、上西郷川での川づくり内容について九州大学の先生の説明を聞きながら、実際の整備手法について確認します。

## 次回のワークショップのご案内

今回は、**11月10日（土）13:30～15:30**、**市役所大会議室**で開催します。

テーマは次のとおりです。お誘いあわせの上、皆様のご参加をお待ちしております。

### 次回のテーマ

- ・整備イメージ模型を見ながら修正作業